

会議の概要

令和2年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和2年5月28日（木）18:30～20:05
場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（1階）
分科会：幼稚園…多目的ホール、大玉中…健康相談室（1階）
玉井小…農事研修室、大山小…農事相談室（2階）

進行…事務局（指導主事 斎藤 一範）

1 開会の言葉

進行

それでは、時間になりましたので、これから第1回コミュニティ・スクール委員会を始めさせていただきます。

2 委員の任命・委嘱状の交付

（大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- ・ 新たに任命された委員の代表受領 大玉区長会推薦 渡辺 憲一 氏
- ・ 学校関係者委嘱状代表受領 商工会青年部推薦 小椋 伍 氏

3 教育長あいさつ

- 皆さんこんばんは。今年度第1回目のコミュニティ・スクール委員会（以下CS委員と略）は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、このような形（全体会を広いホールで、分科会は別室で。会議時間短縮）で開かせていただきました。
- 只今、任命書及び委嘱状を交付させていただいたが、大変多くの名前の任命書等になっている（5つの幼稚園、小・中学校の学校運営協議会委員、そしておおたま学園CS委員）。これがおおたま学園CSの特徴である。通常は一つの学校に一つのCS委員会があるわけだが、本村のおおたま学園については6つを束ねてもらっている。それだけ委員の皆様方にはご負担をおかけするが、よろしお願いしたい。
- おおたま学園構想は、平成23年度に始まった。その時に、学校、幼稚園の場所は離れてはいるが、大玉で学ぶ子どもたちを、幼稚園、小学校、中学校と一貫的に育てていきたいという考えで仮想のおおたま学園を創った。そのためには、委員の全てを兼ねた方がよいということで、このような形でおおたま学園CSを進めてきたわけである。そして、それは今年で10年目になる。

足跡を振り返ってみるといろんなことがあった。

4年を一区切りとして、平成23年度から平成26年度までが第1段階の「ホップ」、平成27年度から平成30年度までが第2段階の「ステップ」、令和元年度から令和4年度までが最終段階の「ジャンプ」と考えていたが、今年度こういう状況になってしまった。本当に辛いものがある。

「多くの方々に関わってもらって子どもたちを育てていこう」「地域の人もそこで学んでい



こう」というのがCSの趣旨なのだが、現状の「人と関わることをいかに少なくするか」という動きの中で、今年度のCS委員会をどのように進めていったらよいのだろうか。5月14日（木）にCS役員会を開いて、役員から様々な意見をいただいた。その中身を受けての今日の委員会でもあるので、十分な協議の程よろしくをお願いしたい。

- 大玉のCSの特徴は、6つの学校・園等をまとめて扱っていること、そして、地域学校協働本部を中心に、昨年度まで3年間福島県のモデル地区となつて様々な活動をしてきたことである。委員の方々の机上に地域学校協働活動の概要等の資料を置かせていただいた。このような活動に取り組みながら、子どもたちに学校だけでなく、地域社会においても、豊かな学びや体験をする活動を数多く経験させることによって、健やかに成長し、地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考える子に育てていこうということなのである。
- 平成29年10月に開催された全国大会のシンポジウムの中で、兵庫教育大学の小西先生が、「学校は地域の教室」「授業は地域の文化」という言葉を使われた。教育課程や授業の中身をそういうイメージで変えていこうということだった。
これまで本村で取り組んで来た、総合的な学習の時間に「子どもたちが地域に出て行って学ぶこと」や「地域の人たち、例えば生き粋大学の方々が学校に行つて、音楽の授業として子どもたちと一緒に学ぶこと」等が、学校の垣根を低くすることにつながっていくものとする。
- 今年度は大変厳しい状況にありますが、皆様方の英知を結集して、同じ方向に向かって協働して進んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4 CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 伊藤 和弥）

- 改めましてお晩でございます。本日はお忙しい中、第1回CS委員会にご出席いただきありがとうございます。そして、教育委員会の皆さん、学校の校長先生をはじめ先生方、こういう事態の中でご苦労されながら、子どもたちのために一生懸命に取り組んでいただきありがとうございます。
- 先日開催した役員会でも、CS委員として何ができるのだろうか、子どもたちの豊かな学びのために、子どもたちに対してどんなことができるのだろうか等考えていたわけだが、こういう状況下ではなかなか難しいものがある。今日は先生方のご意見を聞きながら、どういう活動ができるのかを考える機会としていきたい。様々な意見を出し合う中で、「まずはできることを探していく」という形で進めていければと考えているので、ご協力をお願いしたい。
- 本日は通常より30分間短いCS委員会になります。短い中での協議になるが、良い知恵を絞り出し合いながら、何とか乗り切っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



5 自己紹介

- ・ 新CS委員（4名）の自己紹介
安田 浩明氏（大玉中学校長）、渡辺 憲一氏（大玉区長会推薦）、小椋 伍氏（商工会青年部推薦）、佐藤寿雅子氏（地域連携担当教職員）

6 本日の日程、内容、進め方及び諸連絡について（事務局）

- ・ 申し合わせ事項について
- ・ CS委員報償について（手続きのお願い）

7 協議 （座長 CS委員会副会長：矢吹 吉信）

（1）幼稚園、小中学校の状況について

（指導主事 斎藤）

- ・ 資料に基づき説明

（2）令和2年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会の方針・年間活動計画について

（指導主事 斎藤）

① 理念についての再確認

- ・ 資料に基づき説明
- ・ 学校運営協議会は各校のオープンスクールの後に開催する。
- ・ 学校の抱える問題が山積しており、地域と一緒に頑張って解決していかなければならなくなっていることもCSを導入する要因である。

② 令和2年度の重点について

- ・ 令和2年度は「地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）」との関連を明らかにしながら、以下の項目を重点とする。

- 地域学校協働本部と連携・協働した教育活動を推進し、地域と共に歩む学校の実現、地域コミュニティの活性化等を目指す。
- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。このことにより、子ども理解・学校理解のより一層の深まりとともに、それらに基づいた協議の活性化を目指す。
- 学校関係者評価を実施し、学校経営・運営の改善のサイクルがより有効に機能するようにする。
- 第2回おおたまコミュニティ広場（第12回大玉村教育フォーラム）は、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として実施する。その際、保護者、村民ができるだけ多く参加できるように、呼びかけ・周知を図る。
なお、内容・方法については、CS委員会において協議する。限られた時間で協議が深まるよう組織・運営方法を工夫する。
- 学校が主体となって企画するおおたま・オータム・フェスタ（第4回）の運営に参画し、ねらいの達成に寄与する。

③ 令和2年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会活動計画（案）について説明

- ・ 9、10、11月実施の各校園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にやる。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観－事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）
オープンスクールについては、教職員の研修の場を確保する観点から実施する。
 - ・ 学校運営協議会と教育委員学校訪問を同時開催する。
 - ・ 希望者あるいは代表者の研修の機会を位置付ける。（コミュニティ・スクール全国大会）
 - ・ おおたま・オータム・フェスタについては、昨年度と同じ形での開催はしない。例えば、運動会等の中に、地域の方と一緒に取り組むことのできる種目を設ける等の工夫をする形での実施とする。
- ※ 大玉村小学生水泳大会（7／21）→ 実施しない。
- ※ あだたら健康マラソン大会（11／7）→ 学校行事としては行わず、任意の参加とする。

（3）令和2年度地域学校協働活動事業計画（案）について（CSディレクター 佐藤 勇人）

- ・ 資料に基づき説明

（4）各園・各校ごとの意見交流（下記について、4会場に分かれて実施）

- ・ 各園・各校から（今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他）
- ・ 今後の教育活動の方向性
- ・ 今後のCS委員会での協議内容について



（5）全体共有

① 大山幼稚園（副園長 後藤弥和子）

- 今年度の指導の重点について説明した後、幼稚園の現状について伝えた。その後、委員の皆様から質問があり答える形で会を進めた。

- 現在、健康調査票を使って園児の家での体温や様子を書いてもらう等し、家庭と園との連絡のやりとりをしている（毎日担任がチェック）。
- CS委員からの提案
保護者の行動歴も調べるとよい。保護者もいろいろな所で仕事をしており、出張等もあるので。（何かあった時のために）
現在幼稚園では、日々の消毒や3密にならないような指導等努力している。新しい生活様式が示されたが、幼稚園での学びや活動、生活では非常に困難である。保護者の行動歴を知ることによって、遊びや3密の緩和ができるのではないだろうか。

② 玉井幼稚園 （CS委員 佐藤 拓未）

- 現状は教職員が空き時間等に丁寧に消毒をする等大変苦労している。いろいろ伺って日々の大変さがよく分かった。
- 教職員自身も、「自分が可愛い子どもたちに感染させるかも知れない」という悩みを持っている。幼稚園であるので、子どもたちとのふれあいも大切であり、業務に不安を感じつつも日々笑顔で指導に取り組んでいる。（頭が下がる思い）
- 現在（5/28現在）は午前中保育であり、何とかスペースを最大限とりつつ行っているということだが、今後通常保育になり、150名になることによってハード的に限界がでてくるとされる。いろいろ限られた中で、現場で知恵を出し合い、スペースの確保であったり、園庭を使ったり等日々苦労しているようである。（子どもも教職員もストレスを抱え込むことを危惧）
- 新しい生活様式が示されてはいるが、幼稚園の保育活動では実践が非常に困難ではないかと思われる。（例えばソーシャルディスタンスをどうとっていくのか…）
- 最大限にやれる範囲で取り組んでいるのに、万が一子どもや保護者に感染者がでてしまった場合、心ない非難を受けることも考えられる（幼稚園・学校の教職員には不本意なことだが）。たとえそうなったとしても、我々CSそして地域は、「いろいろ努力して取り組んでいる中で出てしまった」という寛容性をもちたい。そういう意味でのバックアップをしていけば、いくらかでも先生方の不安を軽減できるのではないか。

③ 大山小学校 （CS副会長 矢吹 吉信）

- 校長先生から経営ビジョンのめざす学校像に「子ども一人一人が主役の学校」を、めざす教職員像に「子ども一人一人に寄り添う教職員」を追加したというお話があった。
- 組織的には、ベテランの教職員と若い教職員の比率が半々の状態である。おおむね学年の1組がベテランの先生で、2組が若い先生であるので、今年度は学級経営案の交流会等を重点的にしていきたいということである。
- 新型コロナの影響で先生方の負担になっているのが消毒作業である。児童が下校してから30分間から1時間かかってしまい大変だということである。CSとして、ボランティア作業に取り組みたいという話をした。
- ソーシャルディスタンスについてだが、子どもたちに「2m離れるんだよ。」と言ってもなかなか難しいので、スーパーマーケット等にある足跡マークを設置したいという要望があり、さっそくやってみることになった。
- 例年今頃予定されていたPTA奉仕作業が新型コロナウイルスの影響で中止になっている。この時期は草が大変伸びる時期であるので、学校支援ボランティアや、他にも時間のある方に協力いただく方法があるという話になった。（地域学校協働活動事業）
- 学校で困っていること
制限されている状況の中で、外部の方にご指導いただくことがなかなかできない。7月以降でいいので、CS委員の中で様々な仕事についている方がいるので、学校に来ていただき、本物を知っていただく機会をつくりたい。

④ 玉井小学校 （CS副会長 吉田 都）

- 校長先生から経営ビジョンの説明をいただいた。休校明けの子どもたちは、思っていたより元気に登校しており安心したが、生活の乱れがあるようで、メンタル面も生活のスタイル

の面も元に戻すためのケアが必要であるとのことである。(難しいが…)

- 高学年としての自覚を持っている子もいるが、勉強や生活の時間とかについてフォローが必要な子がいる。
- 先生方は、授業時数の遅れを取り戻そうという意識が強いが、常に学校経営ビジョンを忘れないようにして教育にあたるよう共通理解を図っている。
- 学校で困っていること
「物的な面」…給食の手袋が不足し、手に入れるのが大変だった。
 - 具体的に何が不足しているかを一覧にして、広報にチラシをはさむ。
 - C S委員がそういう情報を地域に伝える。
 - どこに集めるかを明確にするなどして、学校をフォローしていければよい。
- 学校行事について
優先順位を決めて行っていく。学校全体として取り組む行事の中には学年・学級等の小単位に切り替えて実施できるものもある。(ex. 避難訓練)

⑤ 大玉中学校 (C S副会長 大山 明美)

- 部活動が始まり、放課後1時間活動できるようになった。
- 部活動終了後、先生方が教室の机や椅子などの除菌作業をするので、授業準備等もあつて退勤が遅くなってしまう。先生方は、真面目に本当によく頑張っていると思う。これを何とかしなければならず、現在の課題である。
- 今年新しく赴任した先生方(特に校長先生)は、生徒がいつもマスクをしているので、顔を覚えられないのが悩みである。新型コロナウイルスが収束して、校外で会った時にも、誰なのか早く分かるようにしたいと願っている。
- 卒業アルバムに重点的に掲載される「中学校の三大事業(部活動、文化祭、修学旅行)」については、何とか実現させてあげたいと考えているとのこと。ただ、文化祭では合唱がメインだが、今歌うことが禁止されていて練習すらできない状態である。
- 学校での除菌作業について
C S委員は先生方に話を聞いていて、何となくその大変さについて分かってはいるが、保護者や地域住民は現状を把握していないので知らせるようにしたい。また、今アルコールが不足しており、ハイターを薄めて使っている(2度拭きが必要)ので、そういう足りない物や先生方が頑張っている様子を一人でも多くの人に分かってもらい、協力してもらえばいいのではないかと。保護者全員や地域住民に頼むのは難しいので、部活動単位でお願いしてみるのも一つの方法である。今後この問題を取り上げていかななくてはならないと思う。私たちC S委員も協力したい。

(6) 教育活動の方向性、C S委員会での協議内容の確認

(座 長)

- 各校・園の現在の悩みは似ている部分が多い。今こそ知恵を出し合って、できることに取り組みたい。
- 先日(5/14)の役員会後に立ち話の中で、(強制ではなく)まずはC S委員会のこのメンバーで日時を決めて、一度どこかの学校か幼稚園の消毒作業ができないかという話が出た。“パフォーマンス”と受け取られて、多少批判が出るかも知れないが、C Sが先頭を切ってやってみて、PTAにも広げていければいいと考える。そうすることによって、教職員の負担が少しでも減ればよい。新聞記事にも取り上げてもらって、現状について地域や保護者に知ってもらうことによって、何かが変わるのかなとも思う。
- 具体的に決まってはいるが、皆さんのご意見を伺って、大玉でしかできないようなC Sの取り組みをしていきたいと考えている。事務局で調整してもらい、具体的な日時を決めて皆さんにお知らせしたいのでご協力いただきたい。

(C S会長)

- 各校・園の話を聞いて、日頃思っているよりも大変なんだなと感じた。会社、店舗等でも除菌、消毒の手間はかなりかかっている。学校や幼稚園のために何かをやりたいと行動することが、逆にコロナを持ち込む危険性をはらんでいるのも事実である。C Sによる消毒作業

は、“パフォーマンス”かも知れないが、それも大切で、人的・物的に何が不足しているのか情報を収集しながら行うようにしたい。私たちがコロナウィルスを持ち込まないよう徹底して注意するとともに、消毒方法のマニュアル作りもできたらいいと思う。

- P T A奉仕作業ができない学校・園の草刈り等については、コロナ感染対策を徹底して、学校支援ボランティアを有効に活用しながらできるところをやっていただければいいと考える。

(齋藤CS委員)

- 不特定の人が消毒のために学校や園に入り、コロナを持ち込んでしまう可能性があり、リスクが高い。消毒の業務自体が大変だと思うので、思い切って消毒する人を何人か雇用する等して、根本的な問題解決を図った方がよいと思う。
- 新しい生活様式については、小・中学生は話せばわかるが、幼稚園児（特に3歳児）にはなかなか通じない。そのことを保護者に理解してもらうとともに、安全な環境を早くつくってあげたい。
- 現在は預かりの子のみが昼食をとっているようだが、これが通常通りになった場合、対面ではごはんを食べられない。幼稚園のテーブルは4人から6人掛けなのだが、対面で使えないので、今、村の他の施設から長テーブルを借りて使っているそう。そして、同じ方向を向かせて、遊戯室や（天気のいい日は）外で食べさせたりしている。雨の場合は、当然中で皆で食べるようになる。3密を避けると言っても限界がある。

これから夏の季節になって、外気温が35℃とかになった時に、エアコンをつけても窓は開けた状態になるそう。子どもたちにマスクをつけさせて、具体的にどのように過ごさせていくのかという問題も出てくる。考えることはたくさんあると思う。

(座 長)

- 学校・園の問題をどのようにすれば解決できるかについてもっと議論したかったが、残り時間があと5分程度になってしまった。さしあたって、私は明日からお手伝いしようと考えている。時間があるときには、学校や幼稚園に行こうと思っている。
- 様々なリスクがあるので、自分が学校評価をする学校・園だけでもいいと思う。皆で動くのは難しいので、「個々で学校に連絡を取り、やれることをする」というのはどうだろうか。CSが少しでも動くことによって、地域・保護者に現状が伝わると思う。（先生方の多忙化解消にもつながる。）

9 連絡事項

(指導主事 齋藤)

- 学校や幼稚園の悩みについて、次回以降も話し合う機会を設定していきたい。
- 次回の予定 … 第2回CS委員会は、7月7日（火）午後6時30分から実施する。

10 閉会の言葉

進行

たくさんのご意見ありがとうございました。第1回目でしたが、各校・園ごとに有意義な話し合いができたと思います。以上をもちまして、第1回CS委員会を終わります。ありがとうございました。